

決算審査は、市民に代わって行政効果を評価する、きわめて重要な意味があり、今後の行財政運営の改善に役立つよう、特別委員会を設置のうえ、閉会中の継続審査とし、慎重審査を実施いたしました。

なお、今回の平成23年度会計決算審査においても、執行部より「事務事業シート」の提出を求め、事業評価型の決算審査をおこないました。

## 一般会計決算審査特別委員会

(9月20日、21日、24日、25日、10月1日、5日、12日、17日、31日、11月14日、22日開催)

### ○委員会付託案件の審査

・平成23年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

一般会計決算総額	【歳入】	172億9335万1086円
	【歳出】	163億4409万1098円

### ○審査内容

**Q** 平成23年度に出た多額の不用額を次年度に繰り越すが、市民の受益から考えると問題ではないのか。

**A** 予算の執行にあたっては、事務事業の徹底した見直しを行い、節減、合理化に努め、予算の目的が達成されたものについての残額は、不用額とするよう指示しております。努力した結果とのご理解をいただきたいと思えます。

**Q** 商工会補助金は、当初予算を議会で増額修正した。修正額から減額して交付した理由を伺う。

**A** 平成23年4月末に商工会職員が1名退職したため、250万円の減額が可能と判断しました。その後、商工会と市で協議を重ね、決定いたしました。

**Q** 狭隘道路整備等促進事業とあるが、消防自動車や救急車が入れない、通学するのに非常に危険であるといった箇所が見受けられる。市民の安全・安心を確保するためにも、きちんとした計画を立てて改善していくことが大事であると思うが、今後の考えは。

**A** この調査は、建築基準法に定める道路として都市整備課で実施しました。実際に、その狭い道路を計画的に広げるというのは道路整備課が担当しております。当然予算も必要となりますので、関係部署と連絡をとりながら、できるところから実施していきたいとの考えです。

**Q** 職員による公金着服の問題については、平成23年度体育施設使用料合計が前年度と比較して226万7915円のマイナスとなっている。数字的に異常であることは明らかであり、この時点で何らかの行動を起こさなかったことは、問題ではないのか。

**A** 東日本大震災以降3カ月ほど体育施設の利用を止めたことから、減収もやむを得ないとの考えでした。今となれば全くご指摘のとおりで、当時はそこまで考えが至らず、申しわけありませんでした。

**Q** 東京都板橋区に出店したアンテナショップは、現地を見た印象はよくなかった。あれでは、かすみがうら市のPRにはならないと思う。予算の支出を伴うからには、市民にきちんと説明ができるだけのことをすべきではないか。

**A** チラシの配布によるPRは、それなりの効果があったと思えます。しかし、直売の部門は当初考えていたよりも販売が伸びず、反省点がありました。

## 特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会（9月21日、11月14日開催）

### ○委員会付託案件の審査

- ・平成23年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成23年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について

特別会計決算総額	【歳入】	100億0220万5737円
	【歳出】	96億8285万6649円
水道事業会計決算総額	【収益的収入】	9億9496万7921円
	【収益的支出】	9億9680万2581円
	【資本的収入】	1930万0000円
	【資本的支出】	5億0340万6532円

### ○審査内容

**Q** 国民健康保険の中で、疾病予防事業として人間ドック等の受診に補助金を交付しているが、平成23年度の実績は。

**A** 年間受診者数が595人で、1284万8千円を支出しております。

**Q** 平成23年度下水道事業の、東日本大震災の影響による支出について伺う。

**A** 施設の復旧に約4600万円支出しました。また、福島第一原発からの放射能汚染に係る処分費用として約126万円支出しております。

**Q** 特定環境保全公共下水道維持事業の中で、長寿命化計画策定業務委託に1500万円支出しているが、この成果をふまえた今後の取り組みは。

**A** 調査結果をまとめ、将来的な維持、修繕等の計画を立案していきたいとの考えです。

**Q** 下水道処理施設から出る汚泥については、放射能汚染の関係により市で仮置きしているが、東電からの補償については、平成23年度はなかったのか。

**A** 平成23年度11月分までについては、平成24年度に補償を受けました。補償の内容としては、放射能汚染前後の処分方法による金額の差額が支給されるものです。

**Q** 介護保険については、平成23年度は100人程度の介護認定者が前年度から増えているとのことだが、今後の対策について伺う。

**A** 高齢者人口そのものが非常に増えておりますので、介護給付を抑えるというよりも介護予防を重点的に実施することが一番の施策との考えです。現在、新しい予防策の計画はないのですが、他市町村の事業で参考になるものがあれば、今後取り入れていきたいと考えております。

**Q** 平成23年度水道事業会計は赤字決算ですが、東日本大震災の影響による支出について伺う。

**A** 水道基本料金について、千代田地区が8日分、霞ヶ浦地区が2日分を減免しております。金額で約600万円です。また、放射線濃度の水質検査として約200万円支出いたしました。